

(16)

氏名(生年月日)	ハルキキョウコ 春 木 京 子
本 籍	
学位の種類	博士(医学)
学位授与の番号	甲第225号
学位授与の日付	平成5年3月19日
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当(医学研究科専攻, 博士課程修了者)
学位論文題目	Serum and gastric mucosal pepsinogens in atrophic gastritis, particularly in type A gastritis associated with pernicious anemia in Japanese (日本人における萎縮性胃炎, 特にA型胃炎を呈する悪性貧血の血清及び胃粘膜ペプシノーゲンの検討)
論文審査委員	(主査) 教授 小幡 裕 (副査) 教授 溝口 秀昭, 高桑 雄一

論 文 内 容 の 要 旨

目的

本邦ではまれな悪性貧血(A型胃炎)を多数例集積し, 慢性胃炎(B型胃炎)を対象として内視鏡的胃炎像を対比し, 特に胃粘膜機能を反映するペプシノーゲンの面から検討を加えた。

対象及び方法

対象: 血清ペプシノーゲンの測定は, 悪性貧血37例, 慢性胃炎97例を対象とした。慢性胃炎の内訳は, 萎縮別分類により, C1+C2群28例, C3+O1群23例, O2群22例, O3群24例である。胃粘膜組織内ペプシノーゲンの測定は悪性貧血6例, 慢性胃炎12例(各群3例)である。

方法

1) 血清ペプシノーゲンの測定: IRMA法(immunoradiometric assay)でRIABEAD Kitを用いてペプシノーゲンI, II(PG I, PG II)の定量を行った。

2) 胃粘膜ペプシノーゲン含有細胞の評価: 内視鏡的胃粘膜生検材料により粘膜内PG I, PG IIを酵素抗体法(PAP法)で染色し, 固有胃腺内に染色された細胞の割合を求めた。

3) 萎縮性胃炎の診断: 内視鏡肉眼所見にコンゴレッドテスト及び生検診断を加えた。A型胃炎では悪性貧血の有無を検索した。

成績

1) 血清ペプシノーゲン値: 血清PG I, II値とも慢

性胃炎においては, C1+C2群, C3+O1群, O2群, O3群の順に萎縮が高度になるほど低値を示した。悪性貧血ではO3群よりさらに低い値を示した。

2) PG I/II比: 慢性胃炎では萎縮が高度なものほど低下し, O3群で最も低値で, 悪性貧血ではさらに低値であった。

3) 胃粘膜ペプシノーゲン: 胃粘膜PG I及びPG II含有細胞数も萎縮が高度なもので少なくなり, 血清ペプシノーゲン値と同様の傾向を示した。

考察

慢性胃炎において, 血清PG I, PG II, PGI/II比は萎縮が高度であるほど低値を示し, 萎縮の指標として有用であると考えられた。また悪性貧血では血清PG I, PG II, PG I/II比とも慢性胃炎の萎縮高度なO3群よりも有意に低かった。悪性貧血では他の血液所見では明らかでない場合や潜在性悪性貧血も存在し, これらは診断の指標として有用と考えられた。

結論

血清ペプシノーゲンの測定により, 萎縮性胃炎の程度の把握が容易となり, 特にしばしば胃癌を併発する悪性貧血の血清学的診断として有用であると考えられた。また, 胃粘膜ペプシノーゲンも萎縮の程度を反映していた。

論文審査の要旨

悪性貧血は自己免疫性疾患であるが、消化器の領域においても特異的かつ高度の胃粘膜萎縮(A型胃炎)を伴うことが特徴とされている。

本論文は、悪性貧血と一般の慢性胃炎(B型胃炎)を対象として萎縮性病変の分布を分類し、それらについて血清中および組織内のペプシノーゲン I, II (PG I, PG II) 含有量に関する測定成績を示したものである。悪性貧血においては、血清中、組織内ともに PG I, PG II の有意な低下が認められ、PG を測定することにより萎縮の程度を知るのみでなく、潜在性悪性貧血の診断にも有用であることが明らかにされた。学術的に意義深い論文と認める。

主論文公表誌

Serum and gastric mucosal pepsinogens in atrophic gastritis, particularly in type A gastritis associated with pernicious anemia in Japanese (日本人における萎縮性胃炎, 特に A 型胃炎を呈する悪性貧血の血清及び胃粘膜ペプシノーゲンの検討)

Gastroenterologia Japonica Vol 28, No. 3
359-366頁 (1993年発行)

副論文公表誌

- 1) 自己免疫疾患の胃炎—悪性貧血における胃炎—, Ther Res 12 (5): 1321-1328 (1991) 黒川きみえ, 中尾京子, 足立ヒトミ, 千葉素子, 加藤 明, 春木宏介, 横山 聡, 橋本 洋, 光永 篤, 山内克己, 大田由己子, 丸山正隆

- 2) 超音波内視鏡像と内視鏡所見併用による陥凹型胃癌の癌深達度診断能向上の検討, Gastroenterol Endosc 32 (3): 513-519 (1990) 橋本 洋, 中尾京子, 加藤 明, 春木宏介, 横山 聡, 光永 篤, 黒川きみえ, 村田洋子, 葉梨智子, 笹川 剛, 塚原裕二, 佐上俊和, 鈴木 茂, 小幡 裕
- 3) 超音波内視鏡による胃筋原性腫瘍の良悪性鑑別, Gastroenterol Endosc 32 (11): 2562-2569 (1990) 橋本 洋, 光永 篤, 中尾京子, 加藤 明, 春木宏介, 横山 聡, 村田洋子, 鈴木 茂, 黒川きみえ, 小幡 裕, 竹本忠良